

恵泉女学園大学開学25周年記念

恵泉女学園大学大学院シンポジウム

# 創られる女性文化

現代ほど女性の躍進と活躍が期待されている時代はないだろう。しかし求められる女性像はグローバルゼーションを背景に、一方で多様化、他方では画一化が進んでいる。このシンポジウムでは、表現の主体としての女性と表現の対象としての女性という両面から、日本を含むアジアおよび欧米で女性文化がどのような変遷を経てきたかを明らかにし、女性と女性像の未来について模索する。

基調講演

文字を創った女性たち  
—中国女文字の創成と伝承から—

遠藤織枝 (元文教大学大学院教授)

報告者

日本の視覚表象における女性像

稲本万里子 (本学大学院人文学研究科教授)

アメリカに見る女性像の変容

杉山恵子 (本学大学院人文学研究科教授)

イギリス文学における魔女の系譜

榎本真理子 (本学大学院人文学研究科教授)

司会

梅澤ふみ子 (本学大学院人文学研究科教授)

日 | 2013年11月9日(土)

時 | 13:00~16:00 (開場12:30)

場 | 恵泉女学園大学

所 | J202 教室 (J棟2階)

入場無料



主催: 恵泉女学園大学大学院人文学研究科 問い合わせ先: 恵泉女学園大学庶務課 (042-376-8211)

<http://www.keisen.ac.jp/>